

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム クローバー

作成日 : 令和 7 年 3 月 21 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 (18)	グループホームの趣旨を再確認し、利用者と職員と一緒に食事を楽しめるよう工夫が望まれる。	食事が楽しみなものになるよう、利用者様と職員と一緒に準備や食事、片付けができるようになる。	できる範囲で利用者様と一緒に食事の準備(配膳や盛り付けなど)を行い、昼食時には利用者様と職員が同じ時間、同じ場所で一緒に食事を摂り、食事を楽しめるようにする。	2 か月
2	47 (21)	安全な服薬支援に向けて、再発防止への取り組みが望まれる。	誤薬事故発生後の対策の見直し、及び服薬管理マニュアルの見直しを行い、誤薬事故の再発防止を行う。	利用者様一人ひとりの服薬方法の見直し、および服薬管理マニュアルの見直しを行う。(しっかり内服できたか確認のため、職員2人対応で服薬介助を行うなど) また利用者様の服薬能力を見ながら場合によっては主治医と相談し、錠剤から粉末にするなど、薬の検討も視野に入れながら誤薬事故再発防止に取り組む。	2 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。